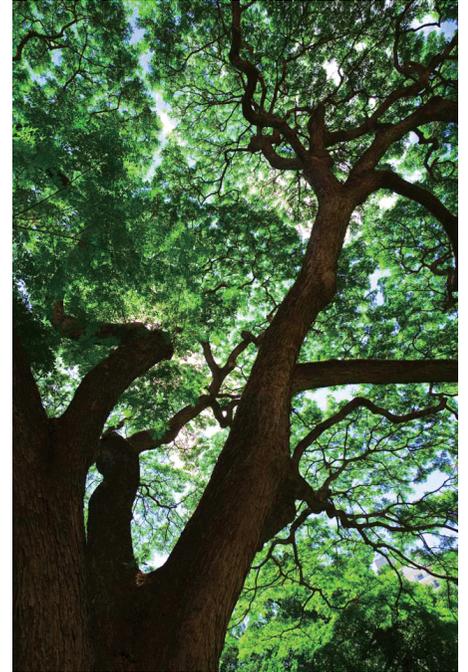


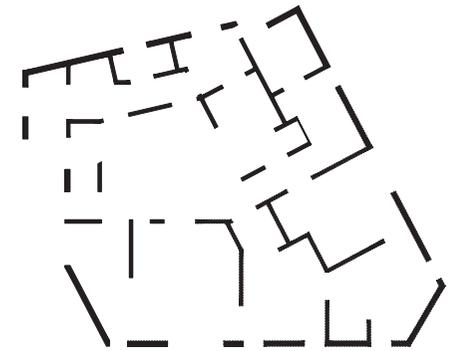
■コンセプト

それぞれの場所でみんなが思い思いに過ごしながらも、いつもお互いの気配で繋がっているような、柔らかな空間の広がりをもった住宅を目指しました。

そしてそれらの空間を大きな屋根で包み込みました。あたたかも様々な生き物が生息している大樹のような住宅です。



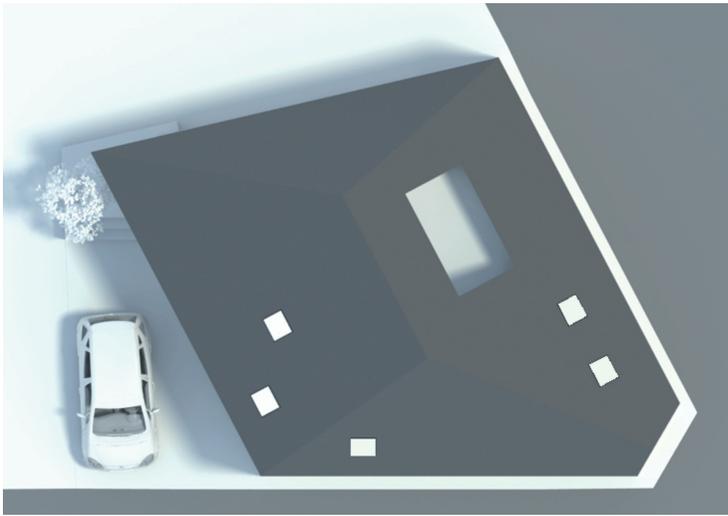
大樹の作り出す、様々な環境が多様な生物のすみかとなります。全部空間は繋がっているのに、それぞれが独立しているような柔らかな空間。



壁だけを取り出したところ。複雑な構成で、奥行きのある空間です。敷地の形状から来るグリッドを敷地内で素直に展開した結果、自然な複雑さが生まれました。

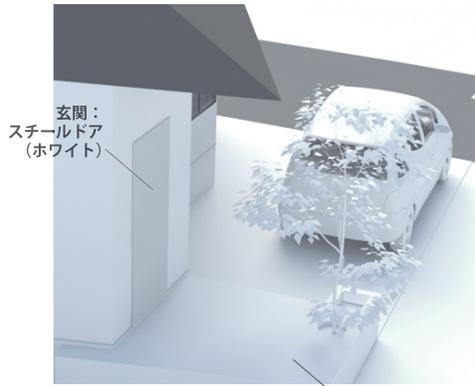
東京都豊島区K邸 大樹ハウス

黒澤亮建築設計事務所



■建物の配置計画

2階をメインに構成すると、1階部分と敷地周囲とに距離が生まれます。植栽をたくさん植えるか塀で強固に囲わないとセキュリティやプライバシーが不安です。中庭を作ると、建築表面積が増えてコストが問題になりそうです。比較的広い土地なので、広土を活かせるように平屋に近い2階建てとしました。また、建物全体が通りに対する防壁となるようにしました。



■エントランス

寄せ棟の屋根の出を利用してエントランスに大きなひさしをつけます。

■開口部

各方向につけられた外壁と屋根の窓は、室内のプライバシーを保ちながら、外部の光や空気を取り込みます。

■外観について

住宅を要塞のようにはしたくないので、外部に対しても柔らかいつながりを持ったようなひとかたまりの建物としました。敷地の建坪率をめいいっぱい使いながらも、寄せ棟の屋根によって、シンプルでコンパクトな、かわいらしい外観となりました。



■シンボルツリー

ヤマボウシなどのシンボルツリーを植えます。エントランス周りがやさしく、柔らかな雰囲気になります。

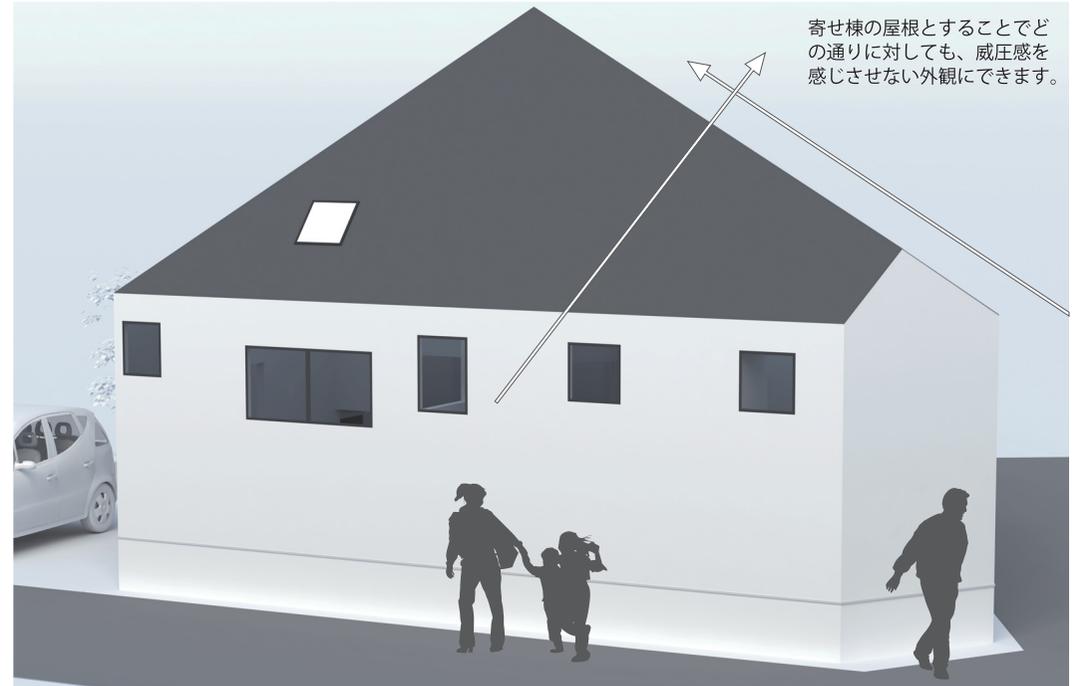
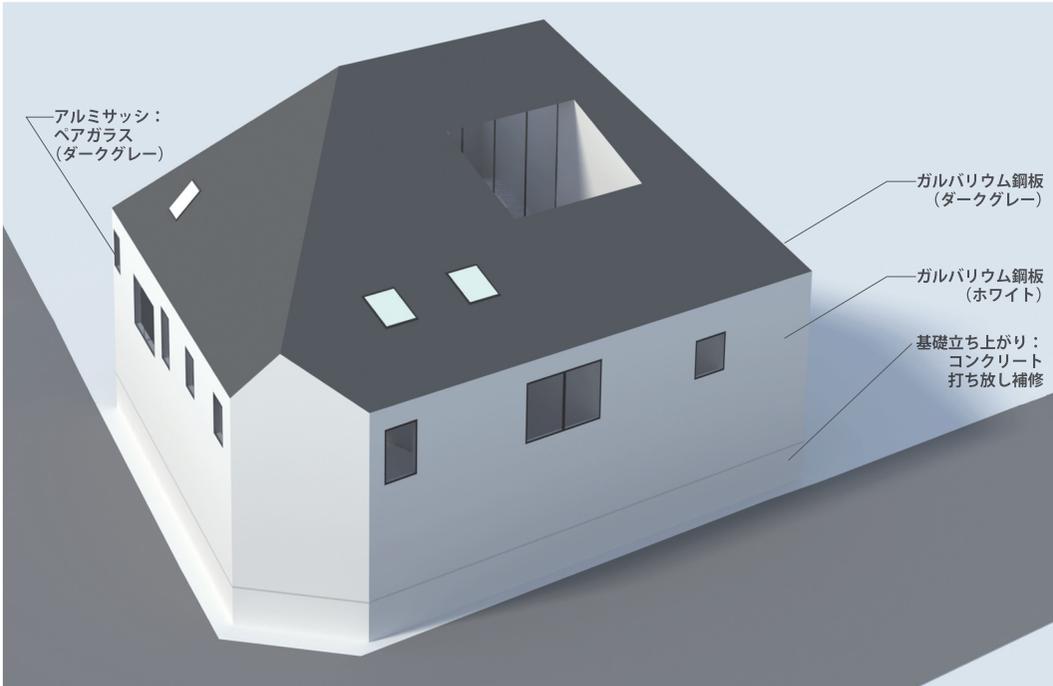
■ペットの足洗い場

アプローチの階段脇に、ペットの足洗い場を設けています。楽な姿勢で犬の足や体を洗うことができます。



■アプローチ

人通りの多い通りを避けて、駐車場、駐輪場を配置します。アプローチはそれらを通して、エントランスまで誘導します。このように配置することで、左隣に建築予定のアパートと建物とに一定の距離を作り出します。アパートの一階部分の採光を得られると同時に、落ち着いたスペースを確保できます。アプローチの突き当りは貸し駐車場なので、視界の抜けた、気持ちの良い空間になると思います。





LDK

ダイニングが家の中心にあります。ダイニングは周囲の部屋と繋がっており、適度に視界が抜けています。では、リビングは？ その時々で快適な場所に移動するこの家は家全体がリビングと言えます。家全体が家族のための空間です。

天井高さ

天井高さは2.5mあります。1スペースの広さに対して高くとっていますが、スペースがひと続きになっているので、大変広く感じられるでしょう。

トップライト

テレビスペース、和室、子供部屋は勾配天井となっています。それぞれトップライトがあり、プライバシーを保ちながら明るい部屋にできます。

和室とテレビスペース

食事が終わったらごろんと横になりたい、そんなときはこの畳スペースが快適です。床レベルが上がっていて、リビングとの間に開けられた開口からテレビを見ることがもできます。頭の向きを変えれば、ほんの少しだけリビングと距離をとることができます。

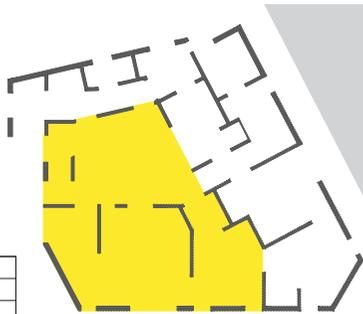


ホームパーティー

細かく仕切られていても空間は柔らかく繋がっています。

シチュエーションや人数に応じて自然に各スペースに移動することがあっても、パーティーの雰囲気はみんなで共有できます。

敷地面積	115.71㎡
建築面積	80.82㎡
建坪率	69.85% < 70%
容積率	85.83% < 206%
1階	79.840㎡ (24坪)
2階	19.47㎡ (5.9坪)
合計延べ床面積	99.31㎡ (30坪)
施工床面積	約32坪
(延べ床面積99.31㎡ + バルコニー6.08㎡)	



家具

いすやソファ、ベッドは別としても、極力、作り付けの家具を用意します。

予算調整の段階で詰めて考えていきます。空間の有効利用を考えておきたいところです。

洗面脱衣室

今後の設計で洗面台を2つにするか決めたいと思います。



子供勉強スペース

キッチンで食事の準備をしているとき、すぐ横で子供が勉強できます。プレイスペースから距離があるので、もう一人のお子さんの友達が遊びに来ていても、勉強に集中できます。家事スペースとしても使えますし、小さな書斎スペースとしても使えます。



子供部屋

子供達が将来的に家を出たときに備えて、この壁を取り払えるように構造計画をします。あるいは最初から無い状態で計画し、子供が大きくなって個室が必要になったら簡易に壁を作るようにしておきます。

車の動線

道路の幅によって電柱を移設します。車の出入りは問題ないと思います。また、人通りの多い通り側に車を置くことわざらされやすくなりそうなので、こちらの方が適切かと思えます。

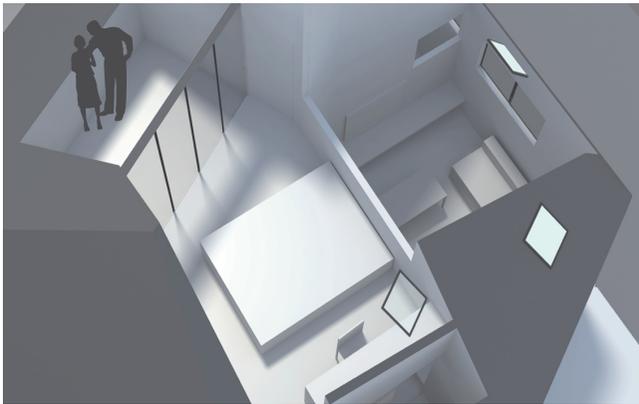
床仕上げ

1階も2階も、無垢フローリングがいいと思います。定期的に自然系ワックスがけをすることで、年月とともに色合いが変化します。

プレイスペース

子供同士や、子供と遊ぶスペース。テレビスペースからは直接見えないようになっていますが、子供達の声が聞こえてきます。あまりにも直接的に見えすぎると監視しているような雰囲気が出てしまうかもしれないからです。





■バルコニー

屋根をくりぬいたようなバルコニーです。室内の照明を落とせば、外から目立たなくなつて、ご夫婦の時間を楽しめるようなプライベートなスペースとなります。東南側に採られた窓によって、朝は陽の光が注ぎこみます。

屋根に埋もれていて、間近を通る通行人には見えません。

■主寝室

1階がみんなのための空間なのに対して、2階は夫婦のためだけの空間です。

全体が繋がっているとはいっても、階が違えばかなりのプライバシーを生み出すことができます。ベッド横の腰壁から下のテレビスペースを見下ろすことができます。

■小屋裏収納

このスペースは小屋裏収納として拡張することが可能です。将来的な増築を見込んだ荷重で構造計算をかけておくこともできます。

スクリーンスピーカーなどは壁に埋め込むことができます。

■構造計算について

当事務所では構造計算も行っています。2階建てであれば通常は許容応力度計算をかけません。しかし、当事務所では2階建てであってもしっかり計算して、安全を確保します。建築基準法が定める耐震性以上の性能を持たせることも可能です。*構造計算料金は設計料に含まれています。



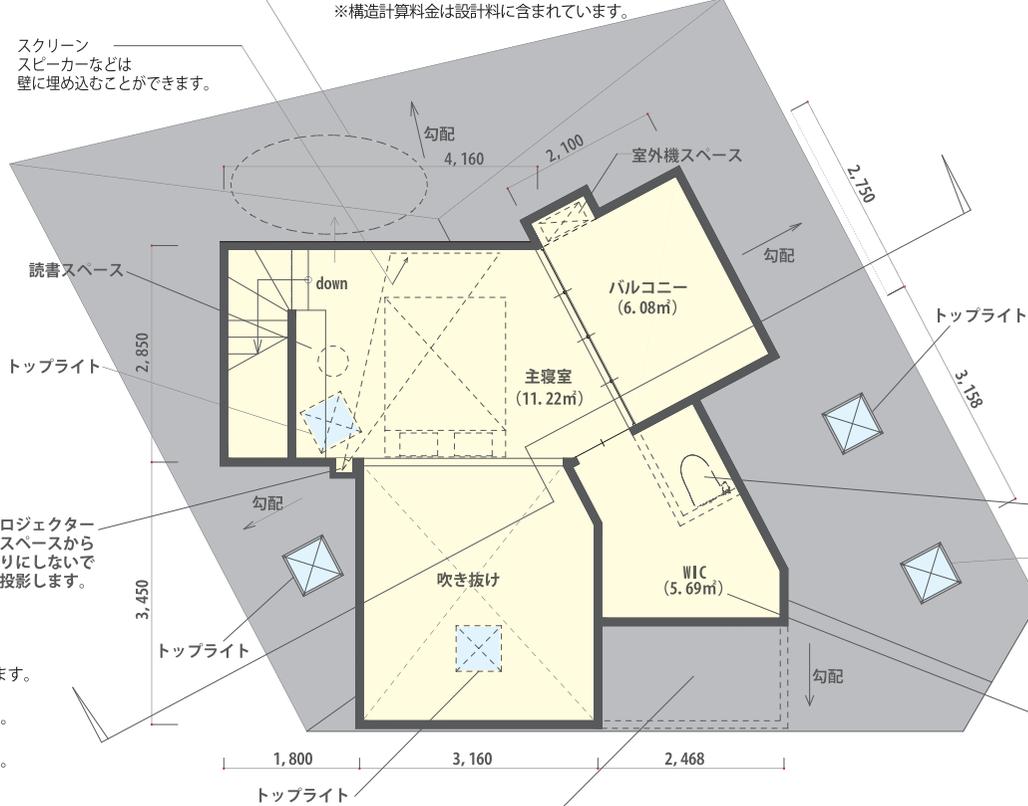
■間接照明

照明は極力間接照明とします。1つなかりになった家の空間全てを明るくするのではなく、光の鳥のような状態にし、落ち着いた夜の空間を演出します。

この計画では主な生活範囲が一階です。予算との関係もあるので、トイレはつけていません。もし2階にも必要となれば、この部分にトイレを設けることができます。WICを介した部屋なので、音の問題が起きにくいはずです。

■WIC (ウォークインクローゼット)

主寝室を抜けると置くにWICがあります。屋根の勾配を利用した、小屋裏空間です。さらにその奥を小屋裏収納として、拡張することも可能です。



プロジェクター
勾配天井がテレビスペースから連続しているので天井吊りにしないで壁に埋め込んで斜めに投影します。

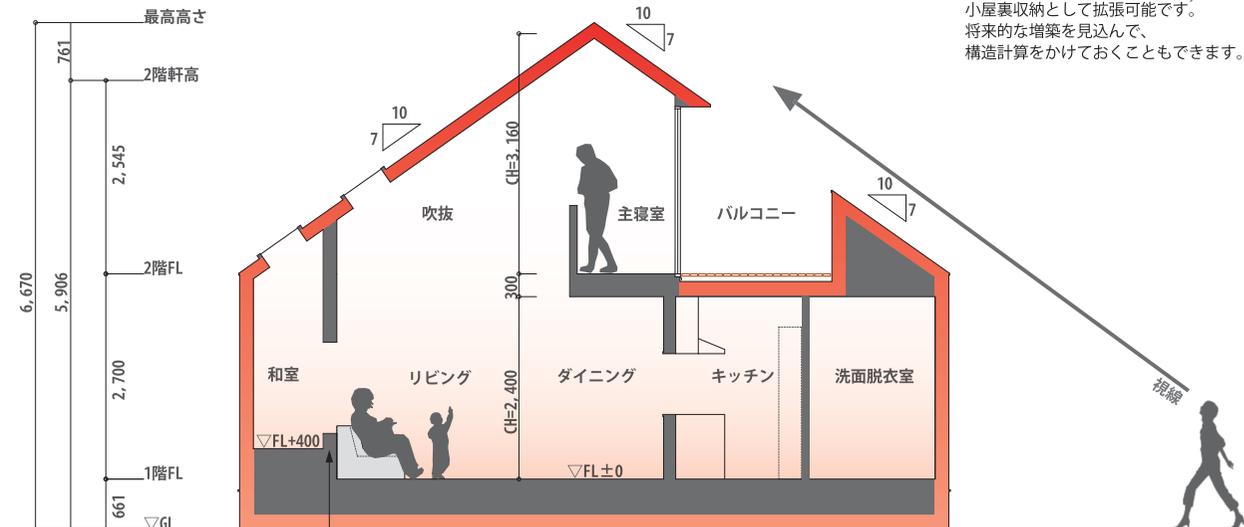
小屋裏収納として拡張可能です。将来的な増築を見込んで、構造計算をかけておくこともできます。

■断熱性と空間の広がりについて

この住宅では内断熱と外断熱を組み合わせると高い断熱性を目指します。こうすることで、建具で空間を仕切らずとも住宅全体をローコストで暖めておくことができます。夏場は逆にクーラーを一つつけておけば、一日中快適に過ごせるようになります。家全体が快適ということは、家のどこでも自分の居場所を見つけられるということです。

体に負担が少ないということは、老後を迎えたときの体への影響が変わってくるはずですよ。

予算が合えば、基礎の下にも断熱をします。



ご購入されるソファが決まった段階で、和室のレベルと腰壁の高さを調整します。

